

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970900142
法人名	有限会社 ワンカラ
事業所名	グループホーム 花みずき
訪問調査日	平成21年2月20日
評価確定日	平成21年5月12日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970900142
法人名	有限会社 ワンカラ
事業所名	グループホーム 花みずき
所在地 (電話番号)	宿毛市港南台二丁目9-25 (電話) 0880-65-0660

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年2月20日	評価確定日	平成21年5月12日

【情報提供票より】(平成21年2月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年6月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7(内兼務1) 人、非常勤 0 人、常勤換算 3.9人	

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	木造	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(2月10日現在)

利用者人数	8 名	男性	2 名	女性	6 名
要介護1	0 名	要介護2	4 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低 81 歳	最高 91 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	田村内科クリニック 奥谷整形外科 聖ヶ丘病院 カタクラ歯科
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

新興住宅地の中にあり、利用者の毎日の散歩や日々の活動に積極的に取り組んでいる家庭的な雰囲気の事業所である。午後のレクリエーションの時に知的ゲームや活動ゲームなどを取り入れ、利用者の活動レベルが下がらないように工夫している。また、運営者が看護師資格を有しており、健康管理は24時間常に対応できる体制にある。昨年の外部評価の改善課題も全職員で改善に向けて取り組んでおり、外部研修への参加や内部研修の強化などにより、職員の育成にも積極的に取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での主な改善課題である「地域密着型サービスとしての理念」、「地域とのつきあい」、「評価の意義の理解と活用」、「職員の異動等による影響への配慮」等は改善されているが、「運営推進会議を活かした取り組み」、「災害対策」等改善されていない課題も残っている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は全職員で話し合い、月1回の職員会でまとめている。管理者、運営者も確認している。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>事業所から行事等活動報告を行い、参加メンバーとの質疑応答もあり、双方向的な会議となっているが、開催が4カ月毎となっている。2カ月ごとの運営推進会議の開催と参加メンバーの増員を含めた見直しを期待したい。また、外部評価で見出された課題や改善計画の取り組み状況、自己評価の内容についても報告し、参加メンバーからの意見等を取り入れ、サービスの質の向上に反映させることを期待したい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族会は現在組織していないが、家族の中でリーダーを決め、家族同士で話し合える仕組み作りを進めている。家族からの意見等には個々に対応している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、地域の情報を収集するとともに、事業所便りを地域に配布し、事業所の実情等も知ってもらうように努めている。毎朝の散歩時の挨拶は欠かさず、また、地域の清掃活動や避難訓練への参加、職場体験学習として中学生を2日間受け入れるなど、地域との交流を図っている。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「家族や地域社会との関係の継続を大切にします。」という、地域密着型サービスとしての理念が作られている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 理念については月1回職員会で話し合い、玄関横にも掲げ、いつでも確認できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 家庭的な雰囲気の中に礼節ある対応を大切にし、安心感が生まれるように手を取って優しく話し掛けるなど、理念の実践に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地域の情報を収集するとともに、事業所便りを地域に配布し、事業所の実情等も知ってもらうように努めている。毎朝の散歩時の挨拶は欠かさず、また、地域の清掃活動や避難訓練への参加、職場体験学習として中学生を2日間受け入れるなど、地域との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 自己評価は全職員で話し合い、月1回の職員会でまとめている。管理者、運営者も確認している。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 評価で見出された課題については改善計画を立て、改善に向けて取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 事業所から行事等の活動報告を行い、参加メンバーとの質疑応答もあり、双方向的な会議となっている。 <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 外部評価で明らかになった課題や改善計画の取り組み状況等が報告されていない。 <input type="checkbox"/> その他 運営推進会議の開催が4カ月毎になっている。	○	運営推進会議は、参加メンバーからの率直な意見をもらい、それをサービスの質の向上に活かしていくことが出来る貴重な機会であり、2カ月ごとに開催することや、評価で明らかになった課題を報告し、改善に向けて意見を聞くなどサービスの向上に繋げる取り組みが望まれる。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 問題や疑問点等がある時は市の介護保険課に相談し指導も受けるなど、交流を図っている。		範疇
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族来訪時には近況報告を行い、家族の状況も聞いている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 職員が毎月利用者の近況を詳細に手紙に書き送付している。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 <input type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 「小遣い預かり出納簿」で管理しているが、家族の定期的な確認を受けていない。	○	家族と事業所との信頼関係を築くためにも、金銭の使途の確認は定期的に行うことが望まれる。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会の会長を決めて立ち上げの準備をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 今まで特に苦情は出ていないが、家族からの意見や相談には個々に対応し、職員で話し合い、サービスの質の向上に反映させている。	○	家族同士が集まり、互いに率直な意見を出しあえるよう、準備中の家族会を早期に組織することを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 本年度は1名の退職者がいたが、馴染みの職員が継続的に支える体制は出来ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 引継期間は1カ月程度取り、スムーズに移行できるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 年間計画を立て、毎月研修会に参加している。内部研修も毎月テーマを決め行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 月1回の職員会で研修内容を報告している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 県内のグループホーム連絡協議会に加入している。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 幡多地区西部ブロック会や宿毛市内の5カ所のグループホーム連絡会に参加し、互いに交流を図っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。 運営者と管理者が出向き、本人や家族と面会して状況把握や意向の確認を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 本人と家族が見学を行っており、体験入所を行う場合もある。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。 運営者と管理者で面接を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>利用者と職員と一緒に洗濯たたみや部屋のモップかけ等を行ない、協働して和やかに生活している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>利用者の希望や悩み等をよく聞き、喜怒哀楽を共感し、支え合う関係を築いている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>利用者の生活歴からだけでなく、日々のかかわりの中でその思いを理解するように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>家族や本人の希望を確認し、介護計画に反映させている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>週3回カンファレンスを行ってプランを作成し、モニタリングも月1回行なっている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>短期3カ月、長期6カ月で見直しを行なっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>状況の変化があればすぐ見直し、個別の期間設定を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p> <p>介護計画は、設定された期間ごとに見直しているが、一部、日付が明記されていないものがあった。</p>	○	介護計画書の作成日等、記入の確認を徹底することを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>協力医療機関、かかりつけ医、看護師資格を有している運営者との連携などにより、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>通院の送迎、墓参り、自宅の様子見など、特別な外出の支援を行っている。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>本人や家族の意向に沿って受診支援を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>受診結果については報告し、日誌に記録すると共に、引き継ぎ連絡ノートにも記録して、全員で共有している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>ターミナルケア説明書、依頼書、確認事項、マニュアル等を準備し、家族に説明しているが、医師を交えた話し合いは行っていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>本人や家族の意向を踏まえ、取り組める体制を整えている。</p>	○	<p>重度化や終末期の対応については、家族、医師を交えて話し合いを行うとともに、重度化に対応する指針の整理も期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 トイレに誘導する際は他の利用者に気づかれないよう、さりげなく声かけをするなど目立たないよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 運営者がプライバシーの保護に関する研修を受け、職員会で周知徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 個人情報保護法についても研修会で徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 利用者の出来ること、したいことを見極め、行動や生活パターン、言葉や表情などからも把握し、柔軟に支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 無理強いせず、利用者の希望に沿った過ごし方が出来るように支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 味付け、配膳、下膳等、利用者ができることをやってもらい、利用者も自分の役割だと思って一緒に進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 職員も一緒に同じものを食べている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>基本的に毎日入浴出来るように対応しており、入浴時間も希望を優先している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>入浴を拒む人には、声かけの内容や人を変え、入浴をすると意識させないようにするなど工夫して支援している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>畑仕事、裁縫、塗り絵、編み物など、利用者の得意な分野でその能力等を発揮できる場面を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>裁縫や折り紙の得意な人には他の利用者に教えてもらったり、ホールで全員で歌を歌ったり、踊りをするなどして気晴らしや楽しみごとを作り出す働きかけを行っている。</p>		
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>馴染みの美容院などに出かけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p>歩行が困難な人も一緒に必ず全員で、花見、みかん狩り、温泉、公園、会食等に出かけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。</p> <p>畑に頻繁に出ていく利用者があるが、草取りや野菜の世話をするのをそつと見守り、対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。</p> <p>花みずき便りを地域に配布して事業所の紹介をするとともに、散歩時には地域住民と挨拶を交わし、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。</p> <p>地域の防災訓練に参加し、事業所の避難訓練も年2回実施しているが、地域住民の参加・協力は得られていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。</p> <p>避難路の確保、消火器の点検を行い、水や災害備蓄保存用パン等を3日分程度準備している。</p>	○	災害時等の避難には地域住民の協力は不可欠であり、地域住民の参加協力による避難訓練の実施を期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>健康管理表に一人ひとりの栄養摂取量、水分摂取量を記入し、把握している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>利用者から献立の内容を希望するケースは少ないが、誕生日会や行事等の時にはお酒も出し、習慣等に応じた支援を行っている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>栄養士に専門的なチェックをもらっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>ソファを置いた空間に加え和室もあり、利用者が思い思いにくつろげる共用空間になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>大きな日めくりカレンダー、折り紙の飾り付けなど、家庭的な雰囲気は壊していない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>折り紙でお雛様や桜の飾り付けを作り、桃の花の造花や活け花も飾るなど、季節感に配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>テレビ、タンス、仏壇、家族写真など馴染みの物を置き、個別に工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>ほとんどの家族から協力を得られており、職員は居室に家族の写真やカレンダーを貼ったりして居室づくりに取り組んでいる。</p>		